

3号機 給水系第2隔離弁(B)グランド部の監視強化について

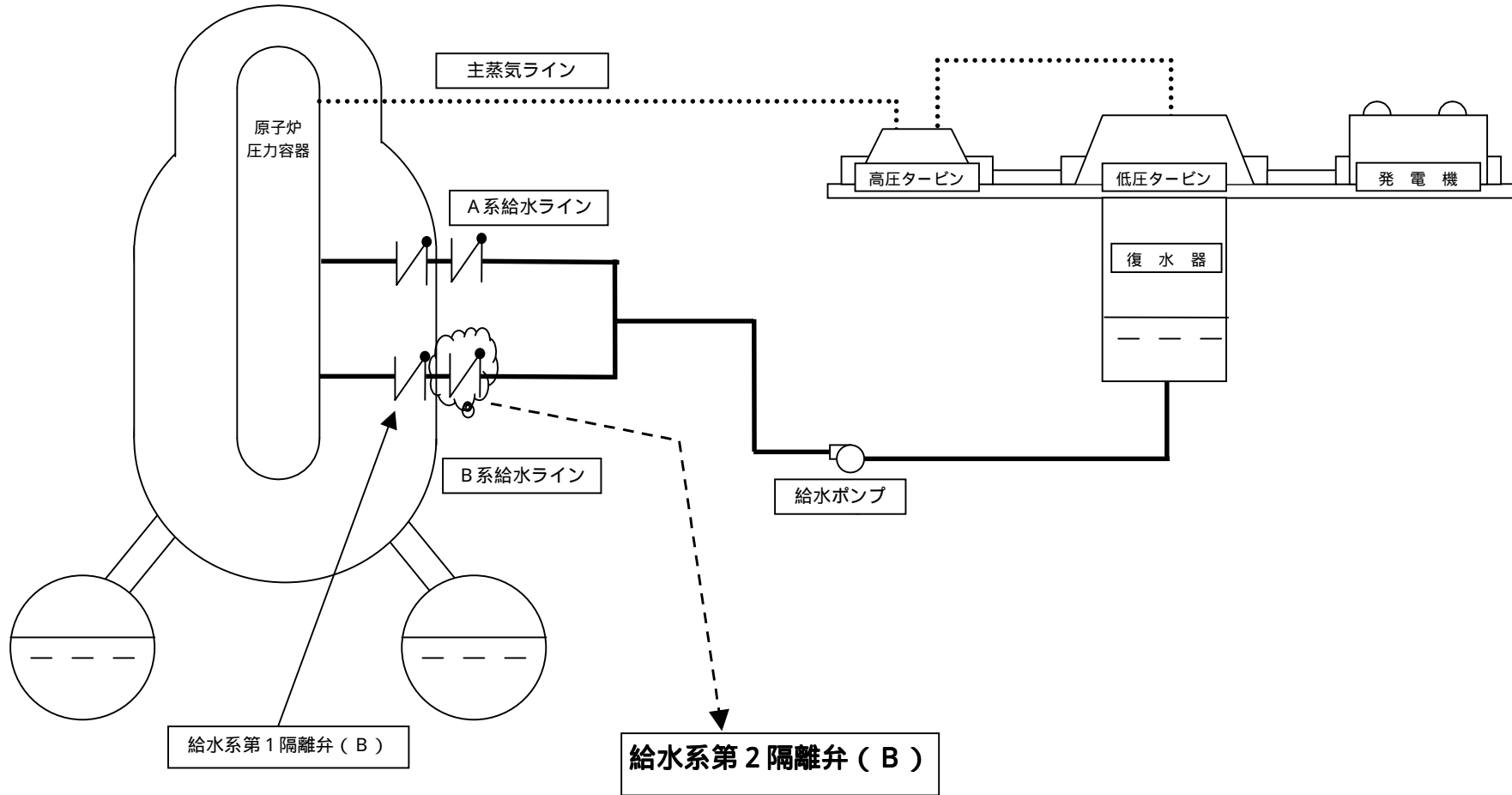
平成 17 年 7 月 25 日

発生号機	3号機 (定格熱出力一定運転中):沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生年月日	平成17年7月24日
発生時の状況	<p>運転中の3号機において、原子炉建屋1階 主蒸気管トンネル室(放射線管理区域)内にある給水系第2隔離弁(B)について、7月24日午前0時頃からカメラによる監視を開始しました。</p> <p>当該弁は、内側と外側の二重にグランド部()があります。このうち、内側グランド部については、温度により監視しておりますが、この温度が通常約40 のところ、約60 まで上昇してきたことから、シール性能が低下したものと推定しました。</p> <p>現状、外側グランド部により当該弁のシール性能は維持されており、当該弁からの水漏れはありません。</p> <p>外側グランド部からの万一の水漏れを早期に確認するため、カメラによる監視強化を行うこととしました。</p> <p>なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p>
お知らせ基準	表2-7(4)」に該当します。

弁内部の流体が外側に漏れ出ないように、弁棒と弁箱の隙間をパッキンで封止している部分。

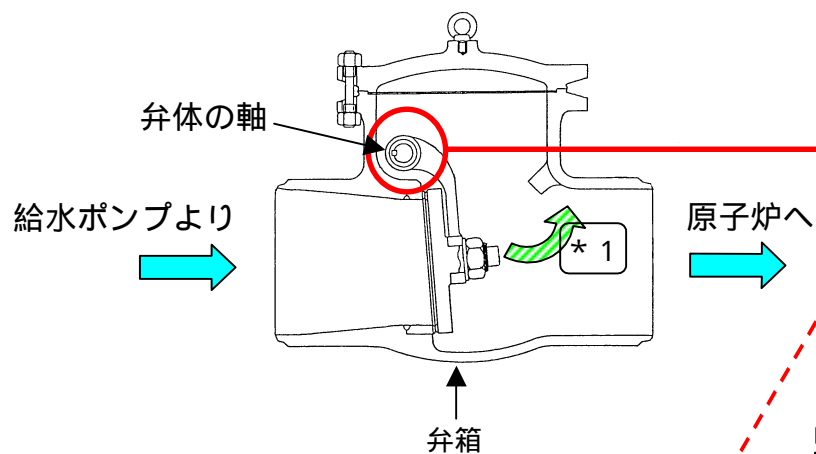
以上

浜岡3号機 給水系系統概略図

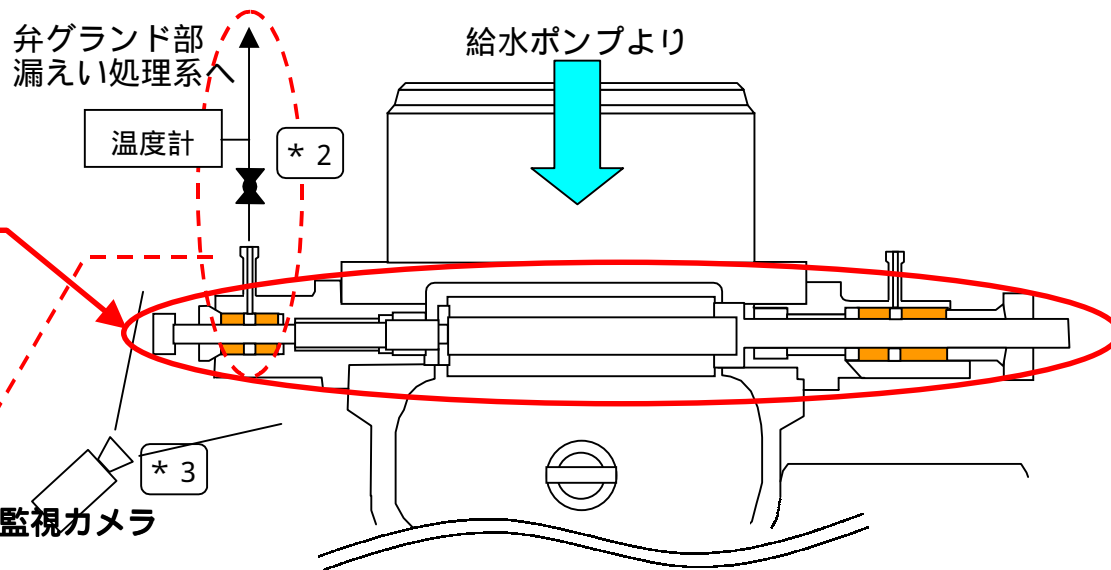


浜岡3号機 給水系第2隔離弁(B)概略図

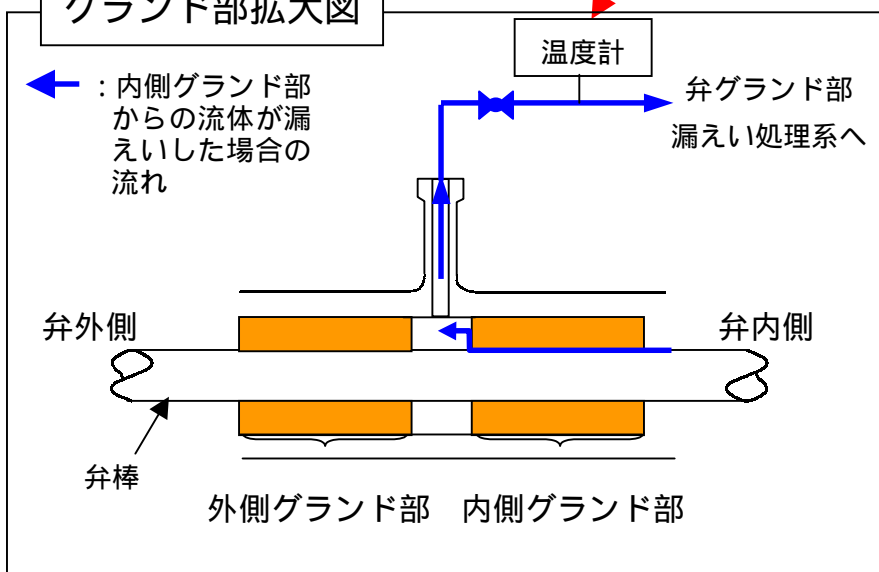
給水系第2隔離弁(B)横断面図



給水系第2隔離弁(B)上部断面図



グランド部拡大図



- * 1 : 給水の流れていない状況の図
通常は弁体が矢印(斜線)方向に上がっている。
- * 2 : 漏えい流体により内側グランド部が損傷することを防止するため、当該部の下流側の弁を閉弁した。これにより弁グランド部漏えい処理系への流れは止まっている。
- * 3 : 弁グランド部漏えい処理系への流れが止まっているため、温度による監視ができないことから、今後は、カメラにて外側グランド部の健全性を監視していく。